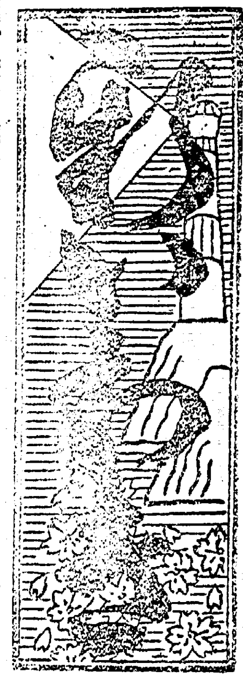


日刊（毎月一回日曜祭日翌日休刊）一ケ月廿五錢 郵税十五錢 一部二錢
廣告料 一行四十錢 場所指定 二十錢増
發行兼編輯印刷人 今谷政
發行所 平市大町二三 新いわき新聞社

常識講座

マンサードは邦語を繋いでマンサド屋根とも云ふ洋風屋根の一形式佛の建築家マンサードの創案、下方を急に上方を緩にせる二重勾配我が文化住宅などに見受る佛國式の屋根の稱

傷痍軍人會員が 恩給の一割を國防獻金 平支部二百二十九圓を

石城傷痍軍人會平支部は老兵會及び現在各人の間に目ざましき活動をなしてゐるが今回同支部員四十七名は恩給の一割を割いて國防獻金をなすべく會員有志の發起で奔走されてゐたが總計二百二十九圓を取纏めて獻金した、傷痍軍人會が此の種のことをしたのは全國でも嚆矢であらうと云はれてゐる

區内の廢品で 慰問袋の資金

平市第廿八區では區内出身の出征軍人に贈る慰問袋資金に青年團及び國防婦人會の應援で昨十八日各戸から廢品を集め賣上金二十九圓を得たので不足の分は特志者から應分な寄附を仰ぐ由である

七十一才の老翁が 戰捷祈願に卅三觀音 地下足袋に壯者を凌ぐ元氣

石城郡永戸村の渡戸農草野新吉(七一)翁は熱心なる神佛の信仰家で壯者を凌ぐ矍鑠も其の爲めと云はれてゐるが豫ねての念願である皇軍の武運長久戰捷祈願の爲め磐城三十三觀音を參拜すべく昨十七日自宅から四十余の山坂をゴム底の地下足袋に皮の鞄を肩掛の輕裝で單身參詣の第一歩を踏み出し名刹赤井の藥師に詣で思余の山道を足輕く下り一齋乘り物をとらず右三十三觀音に初指される平市北目町の普門寺に祀る觀音を參拜したが此の信仰の旅は一週間で成し遂げる豫定であると語つてゐた

託鉢淨財寄附

平佛教同志會では全國僧侶團の結束する大日本佛教會に提唱される奉國託鉢の精進に呼應し去る十五日の同託鉢に得たる淨財三十八圓四十錢を市の軍事後援會に寄附した

顯家郷六百年祭 記念講演 廿四日平市で

伊達の靈山北畠顯家郷六百年祭記念講演會は縣と平市の主催で來る二十四日午後六時半から公會堂に於て開催、左記兩氏の講演がある一般の來聽を歡迎すると

△貴族院議員海軍大佐男爵井上淸純、前宮内次官貴族院議員關屋貞三郎の兩氏

元三坂校長叙勳

石城郡三坂小學校校長を本年三月退職した郡内高久村出身高木德良氏は三十年勤續の教育功勞に對し今回勳八等に叙された

商店法實施の 趣旨徹底講話

平署では商店法實施による來る二十日の第一日の休日に於て同法實施の趣旨徹底のため本田署長から講話をなす計畫を各關係に諮り商店の各組合代表者が昨十七日紺屋町湯本無盡支店樓上に協議の結果右開催を決し當日午前八時から署の會議室に市内各店員を招集し約一時間半の講話をなす

戰地の便 漢口攻略を目前 吾等の勤めも繁忙

（1）石城郡飯野村出身 青木利光

(前略)皆樣御一同其の後も御變りなく每日御健かに御勤務に御精が出ること﹅中支の片隅から御察し致居ります、今年は内地も重ねがさねの風水害にて御勤めには何程か御骨折の事と重ねて御察し致ます、暑苦しかつた夏も何所かに去りてすが〳〵しい秋晴れの每日を朗かな氣分で御努めで御座いませう、どうか每日〳〵を朗かで健康で銃後の國策のため御奮闘あらんことを中支から御願ひ致ますと同時に每日〳〵を無事故ですごし彼の榮冠を金鵄を獲得されんことを御祈り致居ります、不省も皆樣の御蔭樣にて上陸以來益々元氣にて奮張つて居りますから御放心下さい、今や我が皇軍も漢口攻略を目前に控へ我が隊は泥濘となり我れ等も愈よ繁忙を極め寸時もゆるがせに出來ず大に奮張つて我が皇軍の作戰計畫に間違ひなく勤め居りますから重ねて御安心下さい、我が派遣團も日一往復の旅人と小貨物を取扱へ漸次その數量を增し每日働き甲斐ある日々を愉快に送つて居ります、早くも茲中支では稻刈を終へました、最もこゝは町でありまして田畑は少ないですが町の人口は事變前までは十五萬人とか聞きました、公園があり、中學校等もあります、

平市廿八區青年團第六回の總會

平市第廿八區青年團では昨十七日午後六時マルトモ樓上に第六回總會を開き役員改選を行つて左記に決し尚ほ團の活動につき申合せて同九時半閉會した

△團長猪木英 副團長高橋毅 同藤倉武雄 會計諸橋敬一郎(以上)

箕輪第一青年校 勞銀で輕機關銃

石城郡箕輪第一青年學校の生徒一同は部落道路工事に從事した勞銀二十七圓三十錢と同地戰死者阿部友一君の遺族寄附二十圓、同村高野後出村議から寄附十二圓に村費の支出四十圓を合計する百九圓で今回輕機關銃一挺を購入校舍に一層の元氣を上げてゐる

鹿島村助役辭す

石城郡鹿島村助役佐藤善太氏は本年三月再選されて就任されてゐたが去月廿四日壽平郡合で辭表を出だし志賀村長は保留中であつたが承認されて昨十七日午後小學校内に送別會を催され後任推薦の村會は來月十日頃の模樣である

偽請負師の無飲

小名濱町古湊旅館湊屋事星野きた方へ本月十日夜十一時半茨城縣新治郡土浦町眞鍋土木請負業小松崎(四三)と稱して投宿した男が十四日まで滯在し宿料その他十三圓三十八錢の仕拂ひに無一文と判り平署に檢束取調べの結果請負師とは眞赤な嘘で水戸市元山町生れ當時茨城縣宍戸町居住と云ふ名のみの鍛職小松崎松雄(四七)である化の皮がはげた

叱責された娘 鐵道自殺

石城郡内郷村の綴坑夫平澤富治養女相馬郡高平村中里登作次女ふさ(二〇)は村内の裁縫女學校に通學してゐるが他から賴まれた衣類の裁ち方を間違いて養母に嚴しく叱責されたのを氣にし昨十七日午前九時四十分平發上り列車へ内郷村高坂地内で飛び込み無慘の自殺をなす

社告

明十九日は靖國神社の臨時大祭に付休刊いたします、

新いわき新聞社

勞働風の男鐵死

石城郡内郷村御台境地内鐵道常磐線内に胴体を眞二つにされた轢死体あるを去る十六日朝八時二十分平着下り列車の機關手が發見届出により平署の檢視あつたが年令四十余、勞働者風の男で身元不明

平第三校職員生徒慰問袋五十五

平第三校では今回五十五個の慰問袋送付を市役所に寄託したまた同町青年團は國防獻金に町内から一戸一品廢品寄附を蒐集して金十圓を、磐女校では古雜誌類の賣却代金五圓を何れも國防獻金す

箕輪小學女生 桑條剝皮で獻金

石城郡箕輪第一小學校四年生阿部文代(一一)さんは桑條剝皮で得たる一圓二十六錢を我妻校長の手で國防費に獻金した

磐女の運動會 明後二十日

磐城高女第二十五回陸上運動會は明後二十日午前八時半から同校庭に於て催されるが雨天の場合は順延である

例祭費節約獻金

石城郡永戸村の合戸部落では鎭守御塚神社の祭典に節約なし得べき經費を節して得たる金十四圓十錢を區長の名で國防費に獻金した

於第十三回福島縣清酒品評會
受 優等賞
銘酒 鶴仙
合資會社 松吉屋酒造店醸
平市中平窪（電二四一）

謹告
來ル十月十九日ハ靖國神社臨時大祭付敬意ヲ表シ謹テ臨時休業仕候
有限責任信用組合 平庶民金庫

謹告
來ル十月十九日靖國神社臨時大祭ニ付敬意ヲ表シ謹テ臨時休業仕候
平市組合銀行

湯本の二史蹟に對して 史家の態度を明にす （特に湯本の正義町民に與ふ）

19　勿來學人

既に如上の事どもで、該建碑は小松侯に御口約した期限からすると、早くも一年を經過してさへ未だ實現出來ないので私の責任は穩かでなかつた。故に越えて本十三年正月二日比佐氏を帶同して侯邸に年賀を兼ねて伺候し、建碑の遲引を謝し、其の理由としては、同氏の選擧任官に次いで日支事變等の爲、今に之が運びに運せられないが、今年中には必ず竣立して、御本意に報じる旨を、私は若痛ながら陳述し、昌平氏の私的に困る之が支障に就いては、固より些しも言及しなかつた。(昨年正月元旦には、私が一人りで同邸に伺候、賀儀聽許を受く)尤も當日は、幸か不幸か侯爵も小森家令も他に拜賀の爲留守間であつたので、次席の家令に斯の趣を告げ、恰惶として辭したのであるから、御先方の之に對する反問は何も蒙らなかつた。其の場合私は虎口を遁れた感で、門外に出た時は冷汗が背に流れる思ひであつた。

爾來、比佐氏の公的私的乃至病氣等復雜な事情で、鄉土の光榮の爲に授受した之が建碑は、一ト月〳〵と延引するばかりであつたので、私は氣が氣でなく煩悶し、昌平氏に會ふ度び每に實現方を促したが右云ふ諸種なる同氏の事情で(本稿には之が詳細を遠慮して省く)事每に私の素意に合致しなかつた。

羊毛混織用の三面鋼（上）

労力と加工費が省ける生産完成

從來平面鋼は美術品用としてのみ見ひられ生産の方法も其の關係から一般營業家では之を生産するものもなかつたのであるが時局下に登場してゐる羊毛混織用の特殊用鋼には加工費の輕減を計らねばならないため今年の春以來埼玉縣立熊谷蠶業試驗場に於て研究この程完成を見たので新設の同場生産の方法を今年の初秋蠶から實施させることになつた、二種當の品種は日一一×又一〇七號で平面鋼百匁に對する繭兒は千八百頭から二千五百頭である、

蠶室の裝置、吐糸（糸をはかせる）させる場所は周圍に障子、襖、板戸等をもつて閉鎖して室内を暗くしまた風の入らぬやうにする、若し夏季蠶の場合であるならば一室を二分して蔟または濕紙などにて仕切つてもよい、若し光線や風が入ると蠶兒はこれを避けるために反對の側に密集して蠶座から落下するものを增加する、

通温と濕度、温度は七十五度乃至八十五度の範圍がよく七十度と下らしてはいけない、温度は七十度乃至八十度がよい、

蠶座の裝置、皆川蔟または網蔟かの何れかを使用するが蔟々間邊は直線なものがよく棚竹の上に細き棒三本を並べその上に蔟をひろげる、

つ立に線一第の會品參二勝戰軍皇

子帽折中　子帽供子

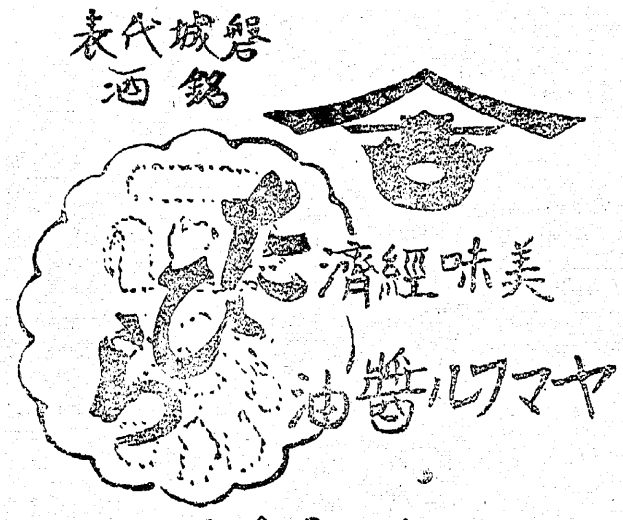
ツルヤ　電一四〇
豐富陳列
漸新型

根本産婦人科醫院
平市南町
根本莊次郎
根本貞雄
電話三四番
（入院隨時）

平田町（三丁目裏川岸通）
明雲堂眼科醫院
電話六六九番
入院應需（自炊の便あり）

産婦人科　院長　木村寅次郎
外科　醫學博士　内木宗八
藥局　藥劑師　大岩俊雄
平市新川町九一
入院隨意　病室完備
木村病院
電話一六四番

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、齒科
齒列矯正科、小見科
一、口腔外科
一、レントゲン科
平市田町（松月堂向ヒ）
中野齒科醫院
電話二〇九番
院長　日本齒科醫學士　中野喜次
月大學科醫學士　福井伍郎
補綴部主任　佐藤直治

表代城磐酒銘


專門　皮膚科　泌尿器科　性病科
診療時間　午前八時より　午後九時まで
醫學博士　江尻伊三郎
平市田町　電話六九一番
江尻醫院

平病院（平市元共濟病院跡）
電話六四一番
院主　醫學博士　鈴木定藏
内科　院長　鈴木定藏
小兒科　部長　佐藤幾要司
外科　内藏一般外科　副院長　高橋俊幸
泌尿器科　皮膚泌尿器科　副院長
レントゲン科　物理的療法科　部長　鈴木定藏
藥劑科　部長　吉本孝平
診療時間……毎日午前八時より午後九時まで夜間診療に從事す（急患は此の限にあらず）

和洋銅鐵、金物問屋
金屋商店
電九・九九

國民精神總動員
日本國民必見の書……
内閣情報部發行
寫眞週報
1部10セン
お取次致して居ります
平二　西村屋藥局　電三